

平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月25日

上場取引所 大

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

TEL 047-382-4141

四半期報告書提出予定日 平成24年6月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第3四半期の連結業績(平成23年7月21日～平成24年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	9,070	10.0	378	△18.8	386	△18.8	169	△36.2
23年7月期第3四半期	8,245	△10.5	466	△16.9	475	△16.0	266	△21.9

(注) 包括利益 24年7月期第3四半期 168百万円 (△35.9%) 23年7月期第3四半期 262百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	47.26	—
23年7月期第3四半期	74.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第3四半期	7,664	2,925	38.2
23年7月期	7,778	2,810	36.1

(参考) 自己資本 24年7月期第3四半期 2,925百万円 23年7月期 2,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年7月21日～平成24年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,800	5.5	640	△6.6	650	△7.3	320	△20.2	88.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年7月期3Q	3,600,000 株	23年7月期	3,600,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年7月期3Q	3,473 株	23年7月期	3,473 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期3Q	3,596,527 株	23年7月期3Q	3,596,527 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年7月21日～平成24年4月20日）におけるわが国経済は、欧州の財政危機、円高の長期化、タイの大洪水等の影響を受けて輸出が減速するなど、景気は一時、弱い動きとなりましたが、日銀の量的緩和による円高の修正及びサプライチェーンの回復などにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境下、当連結グループは第8次中期経営計画2年次のテーマとして「サービスメニューの拡充、営業力の強化による売上高の拡大」、「クラウドコンピューティング基盤技術などの技術シフトの加速」、「仮想化案件の拡大のための新分野パートナーの開拓」、「社員のスキルの見える化や階層別教育の実施などの人材育成の推進」を掲げ、その実現に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、フィールドサポート事業をはじめ各事業において営業活動を強化し、売上拡大に取り組んだ結果、売上高は90億7千万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

損益面では、フィールドサポート事業においては売上増に加え、生産性の向上や効率化等のローコスト体制が寄与した結果、増益となりましたが、ソフトウェアサポート事業においてサポートコストが増加し、減益となったため、営業利益は3億7千8百万円（前年同四半期比18.8%減）、経常利益は3億8千6百万円（同18.8%減）、四半期純利益は、1億6千9百万円（同36.2%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

(フィールドサポート事業)

営業の強化、生産性の更なる向上、外注制度の整備等により、取扱量の拡大を目指すとともにC E（カスタマーエンジニア）のS E化（技術シフト）ならびにクラウドコンピューティング市場に対応する仮想化技術の取得に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、学校市場向けI C T事業が堅調に推移するとともに、民需市場においてもメーカーからの修理受注件数が増加した結果、売上高は54億1千8百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益は5億5百万円（同23.1%増）と増収増益となりました。

(オフィスシステム事業)

直接販売顧客や販売パートナーなどの開拓強化、W e b ビジネスの拡充、トータルオフィスソリューションの提供に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、オフィス移転に伴う需要の増加やO A サプライ用品における新規販路の開拓、既存大口顧客への営業強化等により売上は増加しましたが、競争激化による利益率の低下により、売上高は25億7千万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は3千8百万円（同8.0%減）となりました。

(ソフトウェアサポート事業)

ソフトウェア保守やB P O サービスなどのストックビジネスの強化、新サービスの提供並びにプロジェクトマネジメントの強化によるサポート品質向上、採算管理の徹底を施策に掲げ、取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、地方自治体向けの基幹系システム、福祉系システムのサポート売上は増加しましたが、学校向け自社開発パッケージシステムサポート及び地方自治体向けサポートにおいて、計画を上回る外注費等の発生により、プロジェクト収支が悪化し、売上高は10億8千2百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業損失1億6千5百万円（前年同四半期は営業利益1千3百万円）となりました。

今後につきましては、プロジェクト管理、品質管理を強化するとともに採算管理の徹底を図り、収益改善に努めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、76億6千4百万円と前連結会計年度末比1億1千4百万円減少しました。これは流動資産が、売掛金の増加(4億9千8百万円)、繰延税金資産の増加(4千2百万円)、仕掛金の増加(3千1百万円)等はありませんでしたが、現預金の減少(4億9千8百万円)、受取手形の減少(1億4千2百万円)、前渡金の減少(5千2百万円)等により5千5百万円減少し、固定資産が、繰延税金資産の減少(2千8百万円)、ソフトウェアの減少(1千9百万円)等により5千9百万円減少したことによります。

流動負債は、買掛金の増加(1億7千9百万円)、賞与引当金の増加(1億3千8百万円)等はありませんでしたが、支払手形の減少(1億9千3百万円)、前受金の減少(1億7千2百万円)、短期借入金の減少(6千7百万円)等により前連結会計年度末比2億5千8百万円減少し、固定負債は、退職給付引当金の増加(2千7百万円)等により2千9百万円増加しました。純資産は、29億2千5百万円と前連結会計年度末比1億1千4百万円増加しました。なお、自己資本比率は、38.2%と前連結会計年度末比2.0ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期(平成24年4月21日～平成24年7月20日)におきましても、受注増に向けた販売促進活動を強化するとともに引き続きコスト統制を図ってまいります。

平成24年7月期の連結業績予想につきましては、平成24年2月28日付「平成24年7月期第2四半期決算短信」で公表しました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838,398	2,339,844
受取手形及び売掛金	2,835,747	3,191,314
商品	22,448	46,484
仕掛品	50,788	82,485
原材料及び貯蔵品	3,495	2,951
繰延税金資産	187,030	229,038
その他	105,093	95,432
貸倒引当金	△1,697	△1,566
流動資産合計	6,041,303	5,985,985
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	279,512	275,945
工具、器具及び備品（純額）	75,046	68,219
土地	737,854	737,854
有形固定資産合計	1,092,412	1,082,019
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	61,872	60,097
敷金及び保証金	111,082	110,890
繰延税金資産	330,995	302,642
その他	20,935	21,046
貸倒引当金	△3,689	△3,219
投資その他の資産合計	521,197	491,457
固定資産合計	1,737,363	1,678,182
資産合計	7,778,666	7,664,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,551,051	1,536,987
短期借入金	310,000	242,500
未払金	186,958	169,466
未払費用	347,836	342,218
未払法人税等	151,336	89,970
前受金	1,133,562	961,365
賞与引当金	343,991	482,742
工事損失引当金	28	4,253
その他	103,362	39,681
流動負債合計	4,128,127	3,869,186
固定負債		
退職給付引当金	814,066	842,036
役員退職慰労引当金	14,966	17,214
長期未払金	10,252	10,252
負ののれん	651	407
固定負債合計	839,936	869,910
負債合計	4,968,063	4,739,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,178,091	2,294,116
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	2,810,868	2,926,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△265	△1,823
その他の包括利益累計額合計	△265	△1,823
純資産合計	2,810,603	2,925,069
負債純資産合計	7,778,666	7,664,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年4月20日)
売上高	8,245,573	9,070,210
売上原価	5,750,600	6,631,131
売上総利益	2,494,972	2,439,079
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	9,934	11,990
給料及び手当	889,957	891,058
賞与引当金繰入額	235,573	236,102
退職給付費用	85,156	82,275
役員退職慰労引当金繰入額	2,294	2,248
福利厚生費	78,775	80,092
賃借料	82,753	79,708
減価償却費	50,545	57,342
その他	593,648	619,727
販売費及び一般管理費合計	2,028,640	2,060,546
営業利益	466,332	378,532
営業外収益		
受取利息	166	119
受取配当金	1,054	1,676
受取手数料	2,628	3,266
受取保険金	5,256	1,926
負ののれん償却額	244	244
その他	2,870	2,939
営業外収益合計	12,221	10,173
営業外費用		
支払利息	2,152	2,100
その他	546	386
営業外費用合計	2,698	2,487
経常利益	475,855	386,218
特別損失		
固定資産除却損	117	590
投資有価証券評価損	2,798	—
特別損失合計	2,915	590
税金等調整前四半期純利益	472,940	385,627
法人税、住民税及び事業税	247,980	228,483
法人税等調整額	△41,309	△12,829
法人税等合計	206,670	215,654
少数株主損益調整前四半期純利益	266,269	169,973
四半期純利益	266,269	169,973

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年4月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266,269	169,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,557	△1,558
その他の包括利益合計	△3,557	△1,558
四半期包括利益	262,711	168,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,711	168,414
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月21日 至 平成24年4月20日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月21日 至 平成23年4月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,876,322	2,382,151	987,099	8,245,573	—	8,245,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88,284	13,842	112,102	214,229	△214,229	—
計	4,964,607	2,395,993	1,099,201	8,459,802	△214,229	8,245,573
セグメント利益	410,806	41,791	13,734	466,332	—	466,332

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月21日 至 平成24年4月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,418,108	2,570,056	1,082,046	9,070,210	—	9,070,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	167,464	10,930	124,226	302,622	△302,622	—
計	5,585,572	2,580,987	1,206,272	9,372,832	△302,622	9,070,210
セグメント利益又は損失(△)	505,531	38,429	△165,427	378,532	—	378,532

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月21日 至 平成24年4月20日)

該当事項はありません。